

公衆浴場営業許可申請書

年 月 日

倉敷市保健所長 様

申請者（営業者）

住所（法人にあっては、
主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあっては、
名称及び代表者の氏名）

生 年 月 日 年 月 日

電 話 番 号

※ 法人にあっては、生年月日の記載は不要

公衆浴場の営業許可を受けたいので、公衆浴場法第2条第1項の規定により関係書類を添えて申請します。

名 称					
所 在 地	倉敷市	電話番号			
公衆浴場の種類	一般公衆浴場	その他の公衆浴場（			）
工 事 の 着 手 及 び 完 了 予 定 年 月 日	着 手	年 月 日	完 了	年 月 日	
営業開始予定年月日	年 月 日				
衛生管理責任者	住所				
	氏名	電話番号			
利用見込者数	人/日	男 性	人/時間	女 性	人/時間
営 業 時 間	時 分 ~ 時 分				

(添付書類)

- 1 法人にあっては、定款又は寄附行為の写し
- 2 当該公衆浴場に関する次の図面
 - (1) 配置図、平面図、2面以上の立面図及び断面図（以下の内容が記載されていること）
 - ア 浴室、浴槽等の寸法及び男性用、女性用の別
 - イ 浴槽の深さ、縁高、天井のこう配等
 - (2) 給湯給水及び排水系統図
 - (3) 循環ろ過装置を設置する場合、循環系統図（循環ろ過装置、ヘアキャッチャー、消毒設備を明示すること。上記(2)の図面に色分けして記載してもよい。）
- 3 一般公衆浴場にあつては、当該公衆浴場を中心とした半径300メートル以内の公衆浴場、河川、道路、公共施設及び利用者の分布状況を明らかにした縮尺3,000分の1以上の正確な地図
- 4 温泉の含有物質又は医薬品等を原料として薬湯を使用する公衆浴場にあつては、入浴させる患者の種類及び公衆浴場法施行規則第1条第3号に掲げる医薬品等の分析表又は証明書（温泉の含有物質又は医薬品等の名称、成分、用法、用量及び効能を付記すること。）
- 5 その他市長が必要と認める書類

(備考)

- 1 選択肢がある欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 2 温泉の含有物質又は医薬品等を原料とした薬湯を使用する公衆浴場にあつては、その物質又は医薬品等の名称、成分、用法、用量及び効能を付記すること。

(次ページへ続く)

構造・設備

施設	敷地面積	m ²		延べ面積	m ²		建築面積	m ²							
	一般公衆浴場との距離 (一般公衆浴場のみ記入)	浴場名称					直線距離	m							
原水の種類	上水		地下水		温泉 (泉質:)			その他							
脱衣室	男性用	床面積	m ²	ロッカー	個	下駄箱	個	床面構造							
	女性用	床面積	m ²	ロッカー	個	下駄箱	個	床面構造							
	換気設備	空気調和設備		機械換気設備		その他()									
	室温管理設備	空気調和設備		その他()											
便所	男性用	(小) 個			(大) 個										
	女性用	個													
浴室	男性用	面積	m ²	うち洗場面積	m ²	床面構造			勾配						
		給水(湯)栓	個	シャワー	個	洗いおけ	個	腰掛	個						
	女性用	面積	m ²	うち洗場面積	m ²	床面構造			勾配						
		給水(湯)栓	個	シャワー	個	洗いおけ	個	腰掛	個						
	換気設備	空気調和設備		機械換気設備		その他()									
	室温管理設備	空気調和設備		その他()											
浴槽等 (主たる浴槽は記号を○で囲むこと)	屋内	記号	名称 (種類、男女の別等)	容量 (m ³)	表面積 (m ²)	深さ (cm)	縁高 (cm)	使用水	浄水の給水	浴槽水面より上部	気泡発生装置	有	無	空気取入口の状況	
		A													
		B													
		C													
		D													
		E													
		F													
		G													
	H														
	I														
	J														
	K														
	L														
	ろ過器	循環系統	能力 (m ³ /h)	ろ材の種類		ヘアキャッチャー		使用消毒薬剤	薬剤注入方法						
					有 無			自動 手動							
					有 無			自動 手動							
					有 無			自動 手動							
					有 無			自動 手動							
(注) 循環系統欄には、浴槽等の欄に付されている記号を同一の系統ごとにまとめて記入すること。															

(備考) 選択肢がある欄は、該当するものを○で囲むこと。

(次ページへ続く)

構造・設備のつづき

その他の浴槽等	男性用	普通浴槽(水風呂)	箇所	その他()	箇所		
	女性用	普通浴槽(水風呂)	箇所	その他()	箇所		
その他設備	貯湯槽	容量	m ³	基数	基	設定温度	℃
	薬湯	薬剤の名称		薬剤の成分			
	打たせ湯	有(使用水:) 無					

サウナ室	方式	乾熱式 湿熱式 その他()					
	室内面積	男性用	m ²	女性用	m ²		
	構造	天井				内壁	
		床面材質				床勾配	
	設置位置	温湿度計				非常用ブザー	
室内を見渡せる窓							

男女の区分がされていない公衆浴場又は浴室等が外部から見通せる構造の公衆浴場における、その使用形態及び使用方法の概要	
使用形態	
使用方法	

個室浴場	室数	室					
	個室延床面積	m ²					
	換気設備	空気調和設備 機械換気設備 自然換気 その他()					
	浴室の構造	床面構造				勾配	
	室内を見渡せる窓	設置位置					
	一個室の構造	床面積	脱衣室	m ²	浴室	m ²	
			浴槽	容量	m ²	表面積	m ²
		深さ		cm	縁高	cm	
	付帯設備	気泡発生装置 ジェット噴射装置 その他()					
	便所	個数	個	設置場所			
待合室	面積	m ²	設置場所				

(備考) 選択肢がある欄は、該当するものを○で囲むこと。